



◆モダンUIについての豆知識 その①◆

ユーザー指針の「Microsoft365の標準機能」でのサイト構築は、あまりに広域的な表現であり、「Dynamics」などをはじめ、新たに追加される新機能も考慮して、いきなり基盤構築の検討は、検討する主メンバーのリソースを考えると、限定した内容からが始めるのが現実的です。

そこで、現在のプロジェクト(STEP1)を年頭に入れた「Microsoft365の標準機能」で「SharePointOnline」サイトの構築・データ移行に着目すると、以前 (現在もですが)、主流だったクラシックUIは、多くのWebパーツ(200種類以上)も標準で提供され、基本、ユーザー要望も殆ど対応できるフレキシブルな環境 での作業が可能でしたが、ここ数年前より、モダンサイトの代表されるモダンUIへの指針転換をマイクロソフトより案内され、それに伴って発表されたPowerシ リーズもモダンUIでのツール(Framework)での提供になっています。

基本、今迄は「JavaScript」「TypeScript」「Rest.api」「Gragh.api」「InfoPath」「SharePoint201?ワークフロー」などを活用したカスタマイズの検討による構造・手法と構文の理解で済んでいたのですが、モダンUIの出現により、「モダンサイト」「JSON」「Teams」「PowerAutomate」「PwerAppsの処理の記述」なども理解の拡大が必要となってしまうため、もう少し視点を絞り込む必要があり、「可能な限りモダンUIでのサイト構築」で取急ぎ、取り込む事が最良と考えます。

・ハブ構成、モダンサイトで完結できる最大限のサイト構成を検討

・「SharePointOnline」だけで完結できる最大限のカスタマイズをまず検討 (SharePoint FrameworkでWebパーツの作成も考慮)

・重複作業や設定、運用保守などは「PowerShell」を活用して作業を簡略化し、手間を削減

・「SharePointOnline」で提供されないワークフローなどは「PowerAutomate」などで対応

・「SharePointOnline」の「JSON」を駆使しても実現できない機能は「PowerApps」などで対応

以上の事から、まず、「モダンUI」についての簡単な設定(カスタマイズ)について、MSDNで公開されている情報を共有させて頂きます。

◆SharepointモダンUI】リストをCSS/JSONカスタマイズするときに役立つ情報

①列の書式設定で SharePoint をカスタマイズ \Rightarrow <u>https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/dev/declarative-customization/column-formatting</u>

②ビューの書式設定を使用してSharePointをカスタマイズ ⇒ <u>https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/dev/declarative-customization/view-formatting</u>

③リストフォームを構成する ⇒ https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/dev/declarative-customization/list-form-configuration ← 村上さん検討中?

また、フリーランサーの方のブログで「Sharepointリストの使い方」も結構、関連記事が掲載されていますので、ご紹介させて頂きます。

 \Rightarrow <u>https://akmemo.info/sharepoint-list-usage/</u>

先週末(7/1)にお伝えした「Sharepoint」の「e-ラーニング」サイトの資料は、今迄のクラシックUIユーザーの実績を纏めた内容が主であり、「モダンUI」について は余り触れていませんので、このあたりの情報を基に深堀した情報を集めて頂き、上記で記載した「可能な限りモダンUI」でのサイト構築に関連した5項目での 検討を念頭にいれた作業になると考えています。

上記はあくまで牧野の個人的な意見ですので、今後、CISチームで作業の進め方の意識合わせをしながらの作業と思っています。







◆モダンUIでのカスタマイズについて◆

★例題①:部外秘情報の件

横谷さんのご要望は、一覧表示でフォルダー部には「部外秘文書」列に「部外秘情報」「なし」などを表示、ファイル部の「部外秘文書」列には何も表示 しない事はできるかの質問でした。

⇒この質問は、広域的には「JSON」を使って表示カスタマイズは何ができるかの問いかけなので、ネットに公開されていない情報も含めて要望に 応じた回答をする必要があります。

【現状確認】

日生協さんが手を入れている検証サイト「https://jccunion.sharepoint.com/sites/CIS_Template01」 ※CISが掲示した物が「汎用フォルダー」「汎用ドキュメントセット」「汎用ドキュメント」です。 ※SP標準の「フォルダー」は、モダンUIでは、選択肢を非表示にする事はできません。 ※モック確認 https://jccunion.sharepoint.com/sites/Study3/DocLib02/

【対策案】

①一覧の表示行のコンテンツタイプをよって、「汎用ドキュメント」以外は「部外秘文書」列の値を""表示するJSONを設定する。
 ※レンダリング処理(行の背景色の変更の記述と類似) ←検討が必要
 ②サイトコンテンツタイプ(リストコンテンツタイプ)の「汎用ドキュメント」より「部外秘情報」列を削除し入力可能な列情報を無くす。

※モック確認 <u>https://jccunion.sharepoint.com/sites/Study3/DocLib21</u>

【要望が有りそうなカスタマイズの対応策の事前準備】

★モダンUI⇒事前にJSONコードの検討・準備 ←※村上さん:今後予想される内容の検討・準備は事前に検討が必要かと。

※稲垣さん: 7/4掲示した「GW刷新 モダンUIサイト構築での作業の進め方.pptx」に「Section」記述関連の課題を上げています。

④フォームの表示カスタマイズ

・JSONで、列のラベルとフィールドは1列になるようにする。 ←詳細は、村上さんにご相談ください

・可能であれば、列のグルーピング化機能を付与し、「-」「+」クリックで、フィールドの表示・非表示ができるかを確認 ←イメージはクラシックUIを参照」 ★クラシックUI⇒「スクリプトWebパーツ」や「JsLink」用のJavaScriptの検討・準備 ←※牧野が準備済の内容は以下を参照

★クラクダクローズスクラフトWebパータ」でJSEIIIK」用のJAVASCIPEの検討・準備 ~※わ ⇒SharePointを学ぼう 12.Onlineカスタマイズ編01~25.pdf

→ SharePointを学ぼう 13.Onlineカスタマイズ編26~50.pdf

その他、20~30種類程度は、即時回答できるようにしてあります。



「e-ラーニング」サイト資料の概要



◆「e-ラーニング」サイト資料の概要◆

本サイトは、想定される質問の切り口から作成した資料「ナレッジベースの視点」で作成しており、業務に活用できるように事例も取り入れた視点「ナレッジマ ネジメント」も考慮し、マイクロソフトの最新情報も取り入れた生きた資料となっています。 掲示内容も、
情報システム部門の管理者様など向けのテクニカルトレーニング用の教材資料ですが、文字を読むのは眠くなってしまう事も踏まえて読上げ動画 も準備しており、Microsoft365 - SharePoint Onlineの理解を深めて頂く e-ラーニングサイトです。 前編(初級編):8セッション、後編(クラシックUIの中級編⑨⑩)、モダンUIの概要編(初級編)に分割し、各セッションは、10分(資料20頁)~20分(資料40 頁)の読上げ動画の準備もしており、コースで得られる情報は、情報システム部門で「SharePoint Online」の関連業務を携わる方の最小限の知識・習得に 役立つ内容を簡単に纏めた資料になっています。 ①インタネット上で公開されている情報 ⇒ 01.公開情報等の紹介 ⇒ 02.SPO概要とサイト構築作業 ②SharePointで何ができるの? ③どんなテンプレートを準備している?SP標準との違いは?「クラシックUI」 ⇒ 03.テンプレートの概要と活用 ※「モダンUI」版は只今、対応中の「日生協」様のサイト構築仕様が例題 ④テンプレートの作成方法(展開/カスタマイズ/設定など)は?「クラシックUI」 ⇒ 04.テンプレート作成手順 ※「モダンUI」版は只今、対応中の「日生協」様のサイト構築仕様が例題 ⇒ 05.**テンプレート展開事例集** ⑤テンプレートを使って展開したサイト事例のイメージは? 「クラシックUI」 ※「モダンUI」版は只今、対応中の「日生協」様のサイト構築仕様が例題 ⑥展開したテンプレート(サイト・コンテンツ)の操作方法は?「クラシックUI」 ⇒ 06.テンプレート操作編 ※「モダンUI」版は只今、対応中の「日生協」様のサイト構築仕様が例題 ⑦ファイルサーバーの代替えで使用するライブラリの使い方?「クラシックUI」 ⇒ 07.ドキュメントライブラリ操作編 ※「モダンUI」版は只今、対応中の「日生協」様のサイト構築仕様が例題 ⑧最近話題のPowerシリーズとは?活用事例は?「クラシックUI」「モダンUI」 ⇒ 08.PowerPlatForm ⑨SP標準で提供される「ディスカッション掲示板」・・・は要望に合わせたカスタマイズが余りできない。要望に対応可能な「ヘルプデスク」「アンケート」サイトは? ⇒ 09.事例_作業依頼サイト(自動メール配信付) ⇒ 10.事例_ヘルプデスクサイト(自動メール配信/公開承認WF付) ⇒ 11.事例_アンケートサイト(アクセス権限付与付) ⑩SharePointの標準設定でできないカスタマイズは?
 他ユーザーはどのようなカスタマイズを行っているの?
 \Rightarrow 12.Onlineカスタマイズ編 (01~25) \Rightarrow 13.Onlineカスタマイズ編 (26~50) ⑪モダンサイト関連 ⇒ 15.ハブサイト構成 ⇒ 16.モダンサイトのUI・機能・構築工数について ⇒ 17.モダンサイトの編集「スクリプトエディタを利用」 迎マイクロソフト問合&回答例 最近話題のモダンとクラシックの違い、サイトとUIとは? ⇒ 18.MS回答1 モダンとクラシックについての問合と回答 ③マイクロソフト問合&回答例 2週間に2回ペースでの改版でモダンの関わる不具合? ⇒ 18.MS回答2 サブサイト作成エラーの問合と回答 通マイクロソフト問合&回答例 TeamsConnectの公開時期 ⇒ 19.MS回答3 TeamsConnectについての問合と回答



【Automate OJT課題①】

【Automate OJT課題例1】

5段階承認ワークフロー機能を有したコンテンツの作成と段階承認ワークフロー「PowerAutomate」の作成

①NoteDB(KBB)の5段階承認ワークフロー付きコンテンツのフィールド情報の取得

② SPOに同じ列を持つカスタムリストを作成 例:クラシックUIのサンプルリスト(2段階承認用)枠を準備(フォームイメージ付き) ③リストの一覧ビューの表示カスタマイズ

- ・「一覧:すべてのアイテムビュー←承認で公開がOKになった物だけを表示
- ・「投稿アイテム ビュー←自分が投稿したアイテムの承認状態別にグルーピングして表示
- ・「管理者用 ビュー、総てのアイテムを表示

④フォームの表示カスタマイズ

- ・JSONで、列のラベルとフィールドは1列になるようにする。
 ←詳細は、村上さんにご相談ください
- ・可能であれば、列のグルーピング化機能を付与し、「-」「+」クリックで、フィールドの表示・非表示ができるかを確認 ←イメージはクラシックUIを参照」 ⑤5段階承認ワークフローを「PowerAutomate」で作成 ※以下の処理は必ず処理中のアイテムを考慮した記述が必要
- ★5段階承認ワークフロー機能を作成 ※どの状態でも管理者にはアクセス権限を付与する事
- a)承認処理中とし、承認状態列を1段階承認状態中に設定し、アイテムのアクセス権限を1段階承認者に付与
- b)承認無しのアイテムは、公開アイテムとして承認状態を公開承認済に変更し、アクセス権限を公開対象者に付与し、承認処理を終了
- ★c)d)は各承認段階総て同じ処理です(繰り返す)
- c)承認画面で却下されたアイテムだけ、再度、編集可能なアクセス権限(投稿者に権限付与)を付与し、承認処理を終了
- d)承認画面で承認されたアイテムだけ次の承認有無を確認
 - 次の承認が無い場合は、公開アイテムとして承認状態を公開承認済に変更し、アクセス権限を公開対象者に付与し、承認処理を終了 次の承認がある場合は、承認状態列をn段階承認状態中に設定し、アイテムのアクセス権限をn段階承認者に付与

⑥以下の複数のアイテムを投稿

- ・アイテム1 承認有り(1段階だけ承認者入力)) 最終は承認 ・アイテム2 承認有り(2段階迄承認者総て入力) 最終は承認
- ・アイテム3 承認無し(1段階だけ承認者入力)) 最終は承認 ・アイテム4 承認有り(3段階迄まで総て承認者入力) 最終は却下
- ・アイテム5 承認有り(4段階迄:総て承認者入力) 最終は却下 ・アイテム6 承認有り(5段階の4段階だけ承認者未入力) 最終は承認
- ・アイテム7 承認有り(5段階迄:総て承認者入力))- 最終は承認

⑦Automate側の承認待ち状況を確認 ※以下の「←★確認」の詳細は、承認毎にビューを確認し、承認状態が変化しているかを確認 a)アイテム3以外承認待ちかを確認

←★確認 b)アイテム7を承認する

h)イテム1,2を承認、 ← ★ 確認

- ←★確認 c)アイテム6,7を承認する
- d)アイテム5,6,7を承認する ←★確認 e)アイテム4,6,7を承認、5を却下する ←★確認 f)アイテム5,7を承認、4を却下する ←★確認
- g)アイテム2,6を承認、 ←★確認



モダンサイトもモダンページも開発途上中?であり、以下の点を気を付けながらサイト構築や運用を行って行く必要があります。

(1) サイトページにアプリパーツを張付けた後にコンテンツ側でレイアウト変更やデータ削除をした場合、サイトページ表示が連動させない。 また、コンテンツの和名を変更しても、サイドリンクバーの和名も連動して表示変更されない。 その他、以前のクラシックサイト(クラシックUI)と比較した場合、不具合と感じる処が点在する。



「タンリ」版





- (2) 「モダンサイトページ」では設定できない事柄は今後の課題にもなるので、運用前に考慮したサイト展開が必要です。
 - ●モダンサイトの標準設定ではテンプレートも作成できない ← PowerShellの実行にて「カスタム スクリプトの有効化」の実施 既に検証済:★詳しくは、「SharePointを学ぼう_17.MS回答1_モダンとクラシックについての問合と回答.pptx」を参照してください。
 - ●モダンページには「予定表」「アンケート」「ディスカッション掲示板」「タスク」が配置できない 「埋め込み」Webパーツで、***.aspx を表示させる。但し、レイアウト編集を行う必要があります。
 - ●ページ内に張付した クイックリンク「ボタン」毎にカラー設定ができない。「ボタンや画像」の高さ設定ができない。 仕様であり、編集や設定も限定されているため、そのままの運用になります。
 - ●「ニュース」への投稿記事がサイトのページ に 意味不明な命名で作成 されてしまう 仕様であり、編集や設定も限定されているため、そのままの運用になります。
 - Microsoft提供の「サイトテンプレート(モダンUI)」の予定表の不具合が一向に改修されない 不具合の認識されていないようであり、そのまま、運用制限を使た活用になります。
 - ●モダンページ(モダンUI)と WikiPage(クラシックUI)の右上歯車が表示される迄の時間を検証したが、WikiPage(クラシックUI)の方が半分以下の時間で表示され早い。
 - モバイル対応の仕組みから、ページ表示が数倍遅くなっているが、仕様なのでそれを理解した運用が必要です。 モバイルでの運用を考慮しない場合は、モダンページ(モダンUI)の利点は少ない。不具合も多いので、運用管理者を大変。
 - ●よく使用している「Webパーツ」がモダンページでは使用できないため、よくあるユーザー要望が対応不可能 ユーザー要望に対応するため、クラシックUIでカスタマイズに使用される「スクリプトエディターWebパーツ」をモダンUI用に準備 するには、「SharePoint Framework」でWebパーツを追加する必要があります。 ★詳しくは、「20220517_モダンサイトの編集「スクリプトエディタを利用」.pptx」を参照してください。



豆知識①モダンUIサイト構築



◆サイト毎の設定 Fit&Gap

「モダンUI」の「コミュニケーションサイト」や「チームサイト」などは「クラシックUI」の「チームサイト」と比較すると多くの使用可能な有用な機能が無効化されているため、それを理解した上での活用をお勧めします。



上記の制限の解除は、PowerShell を使用して機能を一部、有効にする事が可能です。

◆SharePoint サイト フッター

- 以下のPowerShellを実行する事で、フッター機能は有効になり使用可能となります。
- > Connect-PnPOnline -Url "<SiteURL>" -Credentials (Get-Credential)
- > Set-PnPFooter -Enabled: \$false # for disabling the footer
- > Set-PnPFooter -Enabled: \$true # for enabling the footer
- $\Rightarrow https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/dev/features/site-footer$

Microsoft Search 検索設定を構成



豆知識①モダンUIサイト構築



◆PowerShell を使用して SharePoint ハブ サイトを作成する

詳しくは、以下のURLの内容をご確認ください。

 \Rightarrow https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/dev/features/hub-site/create-hub-site-with-powershell

◆モダン チーム サイトのカスタマイズ

2016年にリリースされた機能ですが、2年前の「Powerシリーズ」がリリースされて初めて検討⇒採用が進んでいるモダンUIです。 注意点は、毎月2回にインナーアップグレードで仕様が変更される機能ダウングレードがある事、機能は拡大される事を留意してください。 設定画面などは既設のクラシックUIなので、インタフェースの混在は理解した上で活用ください。

 $\Rightarrow https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/dev/solution-guidance/modern-experience-customizations-customize-sites$

◆サイトテンプレート機能の有効化

以下のPowerShellを実行する事で、カスタムスクリプトの有効化を行い、その結果として「テンプレート」機能は使用可能になります。

> Set-SPOSite -Identity <対象サイトの URL> -DenyAddAndCustomizePages 0

> Set-SPOSite -Identity https://contoso.sharepoint.com/sites/TeamSite -DenyAddAndCustomizePages 0 詳しくは、マイクとソフトサポートセンターからの内容をご確認ください。

⇒ https://jccunion.sharepoint.com/sites/study/DocLib01/SharePointを学ぼう_18.MS回答1_モダンとクラシックについての問合と回答.pdf

◆サイトテンプレートで保存できるもの

SharePoint サイトをテンプレートとして保存する場合は、サイトのフレームワーク全体、すなわち、そのリストおよびライブラリ、ビューおよびフォーム、 そしてワークフローを保存します。

このようなコンポーネントに加えて、サイトのコンテンツ (たとえば、ドキュメント ライブラリに格納されているドキュメントなど) をテンプレートに含めることもできます。 この機能は、使用を開始するユーザーにサンプルコンテンツを提供するのに便利です。

ただし、この機能を使用すると、テンプレートのサイズが大きくなり、既定の50MBのサイトテンプレートの制限を超える可能性があります。

サイト内のオブジェクトの大部分は、テンプレートに含まれ、サポートされます。ただし、サポートされないオブジェクトと機能もいくつかあります。

サポート対象

リスト、ライブラリ、外部リスト、データ ソース接続、リスト ビューおよびデータ ビュー、カスタム フォーム、ワークフロー、コンテンツ タイプ、カスタム アクション、 ナビゲーション、サイト ページ、マスター ページ、モジュール、および Web テンプレート。

サポート対象外

カスタマイズされたアクセス許可、実行中のワークフロー インスタンス、リスト アイテム バージョン履歴、実行中のワークフローに関連付けられているワーク フロー タスク、ユーザーまたはグループ フィールド値、分類フィールド値、発行ページおよび発行サイト、個人用サイト、ホチキス止め機能、SharePoint アドイン、リモート イベント レシーバー。



豆知識①モダンUIサイト構築



◆サイト毎の設定 Fit&Gap

「モダンUI」の「コミュニケーションサイト」や「チームサイト」に対して、カスタムスクリプトの有効化設定した結果は、いかの通りです。 「モダンUI」の「コミュニケーションサイト」は、PowerShellで設定実行してもサイトテンプレートの保存機能は使えない点に注意が必要です。



※サイトテンプレートを活用してサイト展開したい場合、モダンUI:チームサイトでのサイト構築の検討が必要です。 ※6/30 部門ポータルはチームサイトに確定。







◆部署リスト・部署ライブラリへのデータ移行パターン①

NotesDBの下段に表示されるファイル管理部は、コムチュア様が提供した形式で、運用用法は2種類あります。以下はその1つ目の活用方法です。









◆部署リスト・部署ライブラリへのデータ移行パターン②

NotesDBの下段に表示されるファイル管理部は、コムチュア様が提供した形式で、運用用法は2種類あります。以下はその2つ目の活用方法です。

